

筑波大学共同実験・基本設計が決定

小規模循環式陸上養殖～シャッター通り再開発に適用

かねてご案内の筑波大学内でのエビ養殖”バナメイ“の基本計画が決定しました。

● 初期計画

初期計画での対象生物種:エビ(バナメイ)

- ・総合企画運営管理:(株)ジファスコポレーション
- ・プロジェクトチームメンバー

- 望月秀郎 マレーシアサバ大学 准教授
- 宮崎 均 筑波大学大学院教授
- 野村名可男 筑波大学大学院准教授
- 野原節雄 (株)アイ・エム・ティー専務取締役技術統括
株式会社四国総合研究所(四国電力)



・検証用陸上養殖装置

初期陸上養殖装置はAES製を採用する。

試験場所と期間:筑波大学内で6か月～1年

試験内容:経営が可能な収穫量を達成するための課題の克服(外部ストレス改善による高密度育成、斃死率の改善、品質の向上等)

● ビジネスモデル実用化の日程

I期 ビジネスモデルを完成させるための方針決定/経済性に基づく養殖課題の克服

II期 ビジネスモデルの検証(ビジネスモデルの必要な投資費用を含む)/ビジネスモデルに基づく種苗の安定確保

III期 ビジネスモデルの実施～起業家

